

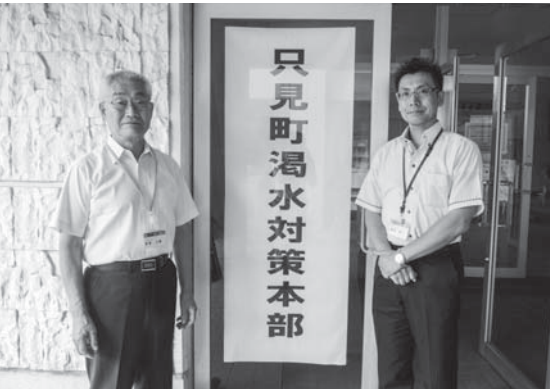
降水量の少ない状況を受け

只見町が渇水対策本部を設置

例年にならない降水量の少ない状況が続く只見町では、8月2日に町で初めてとなる「渇水対策本部」を設置しました。

これは、少雨や高温による農作物の被害や火災予防、熱中症への対策などに取り組むために対策本部を設置したもので、農業用揚水ポンプの貸し出し、営農指導の強化などを行います。

7月の降水量は、平年の約12%となっており、一部のほ場で水が不足している状況が見られました。本部長の菅家町長は「被害を最小限にとどめたい」と話しました。



▲渇水対策本部を設置した本部長の菅家町長(左)と副本部長の橋本副町長(右)

龍泉寺の子安地藏尊菩薩を参拝

第3回お地藏様まつり開催

8月4日、第3回お地藏様まつりが布沢・龍泉寺境内で開かれ、町内外から多くの方々が参拝に訪れました。これは、50年前に途絶えたまつりを3年前に復活させたもので、ふぎわ樂しさと元気づくりのみんなの会、ほっとランド・フォレスト、宇都宮大学Dフレンズなどが主催しました。

午後7時から始まったまつりでは、朝から並べた約千本のろうそくが灯され、幻想的な雰囲気の中境内までの道を照らしていました。境内前では赤飯などが振舞われ、参拝客は足を止め交流を深めていました。



▲子どもを守るとされる子安地藏尊菩薩に手を合わせる参拝者の親子

平成29年度の個人県民税完納

只見町が県知事より感謝状

8月7日、個人県民税優良町村に対する知事感謝状の贈呈式が役場で行われ、只見町が表彰を受けました。

これは、平成29年度における只見町の個人県民税が完納という優良な功績だったことから表彰されたもので、平成28年度の徴収率99・8%から完納となりました。

贈呈式では、金子隆司南会津地方振興局長から菅家町長へ感謝状が伝達され、金子局長は「町民の方々に納税への深いご理解をいただき感謝いたします」と完納に対して称えられました。



▲感謝状を手渡した金子局長(右)と受け取った菅家町長(左)

小学生が英語でミュージカル

「まほうのじゅうたん」を披露

8月10日、教育委員会主催の英語ミュージカルワークショップ「まほうのじゅうたん」が只見振興センターで行われ、約60名が来場しました。これは、児童が英語に親しむために昨年企画されたもので、講師にブロードウェイ歌手のクリス・レベンズ氏、脚本や振付などを手掛けるミキ・マスタ氏とカオリ・シマダ氏を迎え、町内の小学生11名が出演しました。

3日間の練習で本番を迎えた児童は素晴らしい演技を披露し、会場からは大きな拍手が贈られています。



▲短期間で英語のセリフと振付を覚え見事な演技を披露した児童の皆さん



▲2日間で延べ200名以上の乗客が降り立った只見駅

7月28～29日の2日間、JR只見線の臨時列車「快速・風つこ只見夏休み号」が新潟県の長岡駅から只見駅間で運行され、窓枠を外した開放的なトロッコ列車が2日間で延べ200名以上の乗客を乗せて走りまわった。只見駅前では、甘酒やどぶろく、スイカの振る舞いなどが行われ、町内事業者による地元物販コーナーが設けられました。また、町内の施設が見学できるバスツアーのほか、夏でも冷たい只見用水を活用したイベントや長靴飛ばしコンテストなどが行われ、乗客たちは只見の夏を楽しんでいました。

**JR只見線の夏休み臨時列車
快速・風つこ只見夏休み号が運行**



▲テープカットで運行を祝った関係者の皆さん

県と会津乗合自動車が連携する路線バス事業の運行が8月11日から始まり、同日に金山町の会津川口駅前でも式典が行われました。これは、会津地域の二次交通拡充に向けた実証事業で、「只見川線」「田島只見線」「田島川口線」の3ルートで運行を開始し、JR只見線や東武鉄道特急「リバイ会津」と合わせた広域周遊を実施しています。只見町では同日から「田島只見線」が運行され、料金は区間最大で1,500円、基本土日祝日の運行で町内にはバス停が4箇所設置されています。利用の際はバス停での乗降が可能です。

**奥会津3ルートでバス運行
只見町で「田島只見線」運行開始**



▲家族に囲まれ祝されるマサコさん(中央)

8月11日、黒谷字町在住の五十嵐マサコさんが百歳の誕生日を迎えられ、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からはお祝い金などが贈られ、長男の敏博さんが「母は文房具店や日本舞踊など物事に何でも取り組み人で、今も元気に生活しています」と謝辞を述べられました。マサコさんは子ども3人、孫7人、ひ孫7人に恵まれ、若い時には日本舞踊の指導者として活躍されました。1日3食しっかり食えることが長寿の秘訣とのことでした。

**黒谷在住の五十嵐マサコさん
満百歳で知事賀寿を贈呈**



▲第10期生として参加する10名の皆さん

8月22日、地域人材育成ダイヤモンドプラン事業・第10期生の開講式が朝日振興センターで開かれました。第10期生10名は「只見の素材を活かせる人材育成」をテーマに2年間受講し、1年目は地域の素材を活用した先進地の事例などを学び、2年目は事業化を目指した受講生主体のカリキュラムに取り組みます。開講式では、渡部教育長と橋本副町長が「節目の10期生でこれまでの受講生が106名となった。町を支える人材として頑張つてほしい」とあいさつし、受講生が「新しい事業を目指したい」などと抱負を語りました。

**10期生・素材を活かす人材育成
人材育成ダイヤモンドプラン開講**